



シラクチカズラの育苗について学びました

徳島森林管理署と三好市教育委員会では、8月10日、香川大学農学部(片岡農学部長)においてシラクチカズラの育苗・管理方法について学びました。シラクチカズラは、地域の「木の文化」の象徴である「祖谷の蔓橋」の掛け替え資材であることから、徳島署では三好市教育委員会等と協働で、シラクチカズラの育成に取り組んできましたが、これまで期待した成果が得られなかったことから、今回、香川大学農学部でシラクチカズラの育苗、植栽後の管理上の留意点など学びました。9月には実際に片岡教授に現地に来ていただき、育苗スペースの環境条件、実生苗の育て方、実際に苗木を植栽する際の留意点、その後の管理などについて学ぶこととしています。



説明を聞く三好市の担当者



様々なサルナシの苗木



シラクチカズラの実



サルナシの実生苗

8月11日「山の日」イベントを支援しました

8月11日の山の日に行われた「はじめての山登り」(徳島県主催)に徳島署からスタッフとして2名の職員が参加しました。徳島県の3大観光地のひとつである剣山登山に小学生の親子を対象にしたもので、県内から23人の親子が参加しました。天候にも恵まれた今年は、参加した親子以外にも多くのハイカーが登山したこともあり、目標の山頂付近では多くの登山者で、賑わっていました。また、このイベントに飯泉徳島県知事も参加され、参加者とともに剣山を目指しました。登山の途中、徳島署長から飯泉知事に対し、今年度から取り組んでいる森林景観を活かした観光資源の創出事業について説明するとともに、事業遂行に向けた協力要請を行いました。



山頂を目指しました



多くの登山客で賑わいました



飯泉知事に説明する署長



今年度事業箇所の歩道入口

民国連携に向けた分科会を新たに設けました

昨年4月に設けたケーススタディ会議では、三好地域の森林・林業の再生に向けた課題把握と、それらの解決に向け民国連携して取り組んでいます。8月21日の会議では、中長期的に民有林と国有林の協調施業や協調販売、民有林と国有林の一体的な路網整備などを実現していくことを目的として、ケーススタディ会議の中に「分科会」を新たに設けました。

分科会では、深淵国有林と隣接する民有林(約1千畝)のエリアにおいて、具体の民国連携に向けた課題把握と整理、それぞれの事業計画の調整、一体的な路網整備の検討などを精力的に進め、将来にわたって民国連携した取組が実現されるよう取り組んでいきます。



事前検討(H29.7.10)



深淵国有林(写真典)



ケーススタディ会議



情報共有(H28.8.2)



徳島署庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署  
 TEL:088-637-1230/FAX:088-666-1818  
 〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1

